

	特に良くない / Poor (0点)	良くない / Not so Good (1点)	普通に良い / Good (normal) (2点)	とても良い / Very Good (3点)	特に良い / Excellent (4点)
ルールの理解及び適切な使用	<ul style="list-style-type: none"> ルールの理解度の低さが繰り返し見られた ルールをよく無視するなど、自身の有利となるよう解釈し行使した SOTGの精神やルールの詳細を学ぼうとしなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ルールへの理解が欠けていた ルールを無視するなど、時折自身の有利となるように解釈し行使した 試合中、SOTGの精神やルールの詳細の説明を受けるのを拒んだ 警告したにもかかわらず、オフサイドの反則を続けた 	<ul style="list-style-type: none"> ルールの理解は妥当だった わざとルールを捻じ曲げて解釈することはなかった わからないルールを真に学びたいという姿勢を見せた 時間通りに開始し、一貫して制限時間を尊重した 試合を通じてルールを順守した 	<ul style="list-style-type: none"> ルールの理解が水準以上だった 私たちがルールを理解する手助けしてくれた場面が、少なくとも一回あった (注: 手助けを受けるのも良いSOTGである) 	<ul style="list-style-type: none"> ルールの理解が特に良い こちらがよく理解していなかったルールを、明解に、詳細に、試合がより楽しくなるように説明してくれた
ファウル及び身体接触	<ul style="list-style-type: none"> 繰り返しコールをしているのにも関わらず、同じようなファウルや接触の反則を続けていた 危険なプレイや、相手の安全に配慮しないプレイが何度も見られた 接触を避ける努力がほとんど見られなかった 故意または戦術的な理由から、何度もファウルがあった 	<ul style="list-style-type: none"> 非偶発的な接触の頻度が多少多かった 危険なプレイや、相手の安全に配慮しないプレイが少なくとも一回あった 	<ul style="list-style-type: none"> 偶発的な接触以上の、著しい身体接触はなかった 危険なプレイをする選手はいなかった コールが頻発することなく試合がスムーズに進んだ 	<ul style="list-style-type: none"> 能動的に接触を避けたことが少なくとも一回あった ファウルや不要な接触を回避するように一貫してプレイしていた 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の選手に危害を与えないよう接触を避けるという明確な意思決定が何度も見られた 試合での高い競争心を考慮に入れた上で、最大限の思いやりと安全性をもってプレイしていた
フェアプレイ	<ul style="list-style-type: none"> コールに対して常に自身が正しいという姿勢を取った コールに対して、自身のチームにとって不利な結果となる意見は言わなかった 正当ではないコールやコンテストを何度も行った 相手への仕返しとしてコールした 戦術的な理由から、過度に試合を中断した 	<ul style="list-style-type: none"> こちらのコールの妥当性を考慮せず、即座に反論していた その後のプレイに影響を与えない反則へのコールが多かった (例: 非常に小さなトラベル、スローに影響を与えないような偶発的な接触) 自チームにとって都合よくばかり考えているように見えた 正当ではないコールやコンテストを数回行っていった 	<ul style="list-style-type: none"> 反対意見であったとしても、敬意を持ってこちらの意見を理解しようとしていた 適切な状況で謝罪していた (コンテスト無しのファウルなど) 試合をより良いものとするために、こちらの意見を聞き入れ、自身の振る舞いを修正していた 	<ul style="list-style-type: none"> 自チームメイトに、コールやコンテストが不要だと伝える場面が少なくとも1回あった プレイの結果に影響を与えない反則ではコールしなかった (例: マーカーのいないスローワールの最小限のトラベル、キャッチできないスローでのファウルコール) どの選手も、コールに関して試合を通じて首尾一貫していた 	<ul style="list-style-type: none"> 自身に不利でも、事実を忠実に説明する状況が何度もあった 自身に不利でも、首尾一貫した正確なコールをするようチーム内で助け合っていた 重要な局面 (ユニバースポイントなど) であってもフェアプレイの精神を持って試合に臨んでいた
態度及びセルフコントロール	<ul style="list-style-type: none"> フィールド内の選手やサイドラインが失礼な態度をとった 身体的かつ/または言語的な衝突がフィールド内外問わずあった 何度も意図的にディスク等の備品を傷つけた ふざけたプレイをした (例: トリックプレイだけで試合をする、非常に挑発的な行動) 	<ul style="list-style-type: none"> フィールド内の選手やサイドラインが自制心とポジティブさに欠けていた こちらのミスに対して悪意のある態度で喜んでた こちらの選手を愚弄したり怖がらせたりしていた ディスクを縦に叩きつけたり挑発的な喜び方を一回以上見せた 意図的にディスク等の備品を回傷つけていた 	<ul style="list-style-type: none"> フィールド内の選手やサイドラインが、多くの場面で自制心とポジティブさを見せていた 試合前後や試合中にポジティブな印象を与えた (例: ウォームアップ、スピリットサークル) 礼儀正しかった 試合できたことを感謝していた 得点に関わらず、相応しい緊張感をもってプレイしていた 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しく良い試合にしていた 効率的かつ冷静に、自身の見解を述べていた どちらの良いプレイも賞賛した 水、日陰、ウォームアップ場所、テーピングなど、何かを共有する姿勢を示した 十分な自制心をもってふるまう場面が何度か見られた 	<ul style="list-style-type: none"> 全員にとって良い試合となるよう格別に努力していた 緊張感の高まる状況で、フィールド内外で素晴らしい自制心を見せた 試合を通じて最高レベルの敬意とポジティブな姿勢を見せた
コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> コールや事例についての協議をたびたび拒んでいた コールやコンテストに対して、怒りや軽蔑の感情を出していた 攻撃的な言葉を頻繁に使っていた 失礼で攻撃的なジェスチャーを頻繁にしていた (例: にやにやする、攻撃的なハンドサインをする) 	<ul style="list-style-type: none"> プレイに関与していない選手や、プレイがよく見える位置にいなかった選手が、意見を求められていないにも関わらず、何度か協議に口を挟んだ 協議中に冷静さを欠くことが何度かあった 失礼で攻撃的なジェスチャーを何度か使っていた 協議の制限時間を守らなかった 	<ul style="list-style-type: none"> 協議がスムーズに解決した 敬意を示し、傾聴していた 協議の制限時間を守った 自分の見解を明確に説明した 他選手やサイドラインが、助言を求められた時に手助けた ハンドサインを時折使っていた SOTGタイムアウトをコールした 	<ul style="list-style-type: none"> 説明が求められたときに、自身のコールを事実に基づき説明した こちらチームを紹介してくれ、こちらのチーム名も知っていた キャプテン同士が良いコミュニケーションを行っていた SOTGの問題を、当人や(スピリット)キャプテンと早期に解決した 試合を通じハンドサインを使った 	<ul style="list-style-type: none"> 観客や初心者に対して競技の説明をしていた こちらに高いSOTGを見せたいと思わせ、実践方法を提示した 極めて効率的かつ敬意をもってコミュニケーションしており、試合中に協議しやすかった 試合を通じて常に公式なハンドサインを使い、こちらのコールも繰り返していた

試合後に低いスコアをつけるよりも、早期に問題を解決することが望ましい。スピリットスコアの採点はチームとして話し合いながら行うこと。0.5点はつけないこと。迷うときは相手チームを信用すること。忘れてはならないことは、SOTGは試合中および試合前後に両チームの選手が意識的に実践するものであり、プレイを楽しむための双方向の努めである。